

勇敢なお巡りさん

(演者が年とつた警官の姿で上機嫌に舞台に登場する。大きな書類かばんと、先に犬の首輪のぶら下がった犬の鎖を持っている。)

歌う)

わしは勇敢なお巡りだ、

眼光鋭く、何も見逃さん。

わしがこんなに細いから、

悪党どもは嫌つとる。

わしはほそい、ほそいお巡りだ、とろいお巡りではないぞ　村中で一番の細いお巡りだ。すなわち、お巡りは二人しかないのだが、わしと署長と。署長はまったく逆で、ひどく太っており、もう歩けないくらい、走るなんてもつてのほか。だから悪党一人捕まえられない。わしがみんな捕まえなければならぬ。そして実際、捕まえる。追っかけてって捕まえるつてのは本当に嬉しいもんだねえ。ただ一つ、絶対に我慢ならんのは、ごろつきの方がわしを追いかける時だ。そんな時はカンカンになっちまう。だって、悪党が警官を追いかけるなんて、あつてはならないことだろう。そこで、わしはすぐさま調書を書いてしかるべきなんだが、走りながらでは書けはせん。それにそもそもわしは字が書けんのだ。だから、通りで捕まえた悪党を似顔絵で記録しなければならぬ。これが実に腹立たしい。皆さん、こういう悪党の似顔絵描きつてのは、厄介な仕事ですぞ。こんな奴らを一時間、じっとさせておける人がいますかね。絶対に無理だ。鉛筆を削っている間にもう逃げ出しちまう。ここで、先週、捕まえた悪党どもを二、三、お見せいたそうかな。(カール・ファレンティンは書類かばんから一冊の大きなスケッチブック　彼の「犯罪者アルバム」　を取り出す。観客に絵を示しながら)

これは、重犯罪人。こいつは錠前師のところから四百キロの鉄床を盗み出しおつた。

こつちは、すり。ある農夫のところから干し草車を持ち出した。

郊外鉄道で速度出し過ぎのため、わしは蒸気機関車運転手を走行中、逮捕し

たこともあるぞ。

こつちのは、偽金造りの一味、その全員だ。四人兄弟で、金魚を盗み、その金魚から金をはがして、その金で金貨をこしらえおったのだ。

ここに、はしごが見えるかな。農家の若い者どもが娘っ子の窓辺に忍び寄り、た現場をわしは押さえたんだが、逃げられてしまったもんで、せめて、はしごだけでも捕捉したのである。

ある古いごみ容器の後ろで父親殺しを見つけたものだから、そいつを地方裁

フアーターメルダー

判所に持ち込んだら、見事に笑われちまったね。そいつはただのカラー、
フアーターメルダー
高くて硬いカラーだったんだね。

これは、うちの村の小間物屋の女だ。この図々しい女は街道のまんまん中で、店を広げた。そこで、わしはそれを禁じた。翌日、こいつはまた店を広げた。だもんで、反抗したとして逮捕したのである。

以上、これらの悪党やら犯罪人どもはそれほど危険というほどではないかもしれんが、子供は　つまり、うちの村には悪童どもがあるのだ。学校がひける四時になると、実際、不安になる。こいつらがわしを見つけただけで、もう大変だ。　わしはやつらといっしょに遊んでやらなくてはならん。おとこいなんぞ、裏の原っぱで「目隠し鬼ごっこ」をやった。国王陛下の警察官が目隠し鬼をやらなくてはならんとは。でも他にしようがないのだ。いっしょに遊んでやらないと、やつらはわしをこっぴどく殴るのだ、あの悪ガキどもは。そうとも、もつとわしにふさわしいことがあったら、こんな仕事はしていない。駐在所なんかとおさらばさ。　もう、わしはうんざりしてある。皆さん、わしはそもそもお巡りなんぞになりたくはなかったのだ。ところが事情があった。お巡りだった親父が引退してね、それで、制服や何やらすっかりある。それでわしもなったという訳だ。何度、もう命を危険にさらされたことか。例えば強盗団の隠れ家の搜索の時、あの時、もしこの警察犬がいっしょでなかったら、どうなっていたらう。そつだな、ヴァッキー！　（犬の方を振り向く）おやおや、こんなひどいことってあるかい。今度はあの悪党ども、わしの犬を盗んだな。どうも、一週間前からやけにおとなしくて、吠えもしないとは、思っ

とつたんだ。　　そう遠くには行つてゐるはずはない、首輪がここに残つてゐるからな　　すると、すぐに新しい犬を買つしかないな　　でも新しい犬はこの首輪にはいるだろうか　　やっぱりすぐにわしの犬を探して、つかまえよう。だからわしは言つとるのだ、ごろつきとはつき合ふな、ごろつきは悪人だから。そして悪人は避けよ。しかし避けると言つたつて、わしは警官なんだから悪人とかかわらん訳にはいかない。何といてもわしの仕事なのだ。そんなことは靴屋にもう長靴に触れるなど言つのおんなじだ。犬、買うぞ　　オウム買うぞ　　もう、やめよう

(KVは舞台の上に貼り紙をする)

わしのヴァッキーちゃんを盗んだのは誰だ。

返せ、返すのだ。

さもないと、このお巡りが取り返しに行くぞ。

鉄砲構えて。